

令和5年度第1回坂出市地域公共交通活性化協議会会議録	
日 時	令和5年6月23日(金) 15時00分～16時50分
場 所	坂出市役所本庁舎3階中会議室2
出 席 者	<p>(委 員)</p> <p>土井健司会長、宮崎耕輔副会長、淵田竜輔委員、吉岡利浩委員(十川裕史委員代理)、山本健一委員、川滝浩嗣委員、入江正憲委員、川崎泰弘委員、松田夏城委員(上野智弘委員代理)、佐藤国夫委員、河田幸治郎委員、三野公久委員(山下勝久委員代理)、浦田俊一委員、中川高弘委員、林尚志委員、渡邊茂樹委員、鷺岡宗利委員、中原光喜委員 以上、18名</p> <p>(事務局)</p> <p>政策課 大野課長、福崎課長補佐、亀井主事</p>
欠 席 者	<p>(委 員)</p> <p>松下将史委員</p>
オブザーバー	谷岡拓海(四国運輸局)
傍 聴 者	委員随行3名
議事次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1)公共交通無料デーについて 3. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度決算報告および令和5年度予算(案)について (2)10月からの事業計画および地域公共交通利便増進実施計画の策定について (3) 地域公共交通計画(本体)の修正について (4) 地域公共交通計画(別紙)について【地域内フィーダー系統国庫補助金計画】 (5) 福祉タクシー車両の導入について (6) その他 4. 閉会

会 議 概 要

報告事項(1) 公共交通無料デーについて

発 言 者	発言要旨
事務局	《資料に基づき説明》
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは乗っていただき、便利さを体験していただくということが実現できたのではないかと思う。 ・引き続き、こういった取り組みをお願いしたい。

協議事項(1) 令和4年度決算報告および令和5年度予算（案）について

発 言 者	発言要旨
事務局	《資料に基づき説明》
監事	《監査報告》
各委員	《異議なしにより承認》

協議事項(2) 10月からの事業計画および地域公共交通利便増進実施計画の策定について

協議事項(3) 地域公共交通計画(本体)の修正について

発 言 者	発言要旨
事務局	<p>《資料に基づき説明》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年11月に策定した「坂出市地域公共交通計画」に基づき、本年10月からの実施する事業として、利便増進事業に該当する事業については利便増進実施計画を定めて国へ認定申請を行う。(資料2-2) ・利便増進事業に該当しない事業についても、その他事業として実施する。(資料2-3)
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・協議事項(3)についても、関連する内容なので、引き続き説明いただきたい。
事務局	《資料に基づき説明》
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンドの利便性向上について、利便増進実施計画に掲載されていない部分で、対象地域の人が把握できていないので、自治会・老人会・社会福祉協議会・婦人会等の地域の代表者に向けて十分に周知いただきたい。特に府中地区のかたから声を聞いている。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ご提案いただいたように運行の見直しにあたっては、十分な周知を行っていききたい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしく対応をお願いします。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・私が座長を務める分科会において、交通事業者等に集まっていただき、具体的に検討いただいた内容になるが、本日の協議会で計画案として改めて見て、よく練られた計画だと感じた。 ・特に運賃について、従来は循環バスと一般路線バスとで、同じバス停間を利用しても運賃が異なるということで非常に分かりにくかったが、運賃が統一されることにより、双方のバスを利用しやすくなると思う。 ・それに加えて、運賃改定により地域によっては運賃が割高になる地域が発生する中で、アプリやマイナンバーカードの活用により、住民割引が実施可能になることで、来訪者からは正規の運賃を、住民からは割引により従来程度の負担をとということが可能になる。非常によく調整されたシステムだと思う。 ・デマンドタクシーについては、10年程前に制度設計され、当時としては地域に合った制度であったが、時代の経過に伴い、各地で優良事例が出てくる中で、少し時代遅れの古い形態となっていた。 ・デマンドタクシーについても、今回の見直しにより利用しやすくなると思うが、利用者登録の廃止に伴う利用者制限については、緩和ではなく、撤廃でもよいと思う。 ・デマンドタクシーの運賃見直しについても、バス停方式によるデマンドタクシーなので、バスと運賃の考え方を揃えるという視点や、帰りの便で乗降場所以外の場所で降車できるようにすることに伴い追加運賃を設定することは、サービスに応じた負担をするという考え方にに基づき設定されるもので、非常によく考えられていた案だと感じた。 ・先ほど委員からの発言があったように、今後地域への説明を行っていくなかで、反発等もあるかもしれないが、その中で出る意見を反映していくことで、より良いものができると思う。 ・無料デーの話に戻るが、たくさんの利用があった中で、事業者からの話を聞いていると、例えば土日の減便により、「行きは利用できても帰りの便がなかった」ということが発生するなど普段見えない部分が見えた。こういった普段利用していない人の意見・感想・不満が出ることで、改善点が見えてくることもあり、限られた資源の中で、誰をどうやって運ぶかというサービスの検討、改善点が把握できるようになり、地域にとってより良いものが築いていけると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の分科会・協議会を通じて、地域の公共交通がかなり前進すると思う。特に、ゾーン運賃の導入については、事業者だけでは考えが及ばず、事務局から

<p>議長</p>	<p>提案いただき、事業者として大変ありがたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、デジタル化による住民割引など非常にすばらしいアイデアだと思う。 ・循環バスの宇多津町への乗り入れについても、双方の住民にとって移動利便性が向上することになる。 ・坂出駅バスロータリーの利便性向上について推進をお願いしたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・今回の利便増進実施計画案の内容について、日本一のシステムになり得るものだと思う。 ・中でもゾーン運賃について、部分的に実施されている地域はあるが、ここまで本格的に導入を図るものは日本で初めての取り組みだと思う。 ・ヨーロッパではゾーン運賃の導入事例が多いが、ヨーロッパの場合は、ゾーン運賃の導入により市民が割安で公共交通を利用できるシステムと同時に、自動車交通へのプライシングがセットになっている。 ・坂出市の場合は、自動車交通へのプライシングはできないが、マイナンバーカード連携によって、赤字補填ではなく、市民補助を実施できるというクリアな考え方ができており、今後模範となる仕組みだと思う。 ・QR コード活用によるキャッシュレス決済アプリということで、現在普及している IC カードを用いたキャッシュレス決済は設備面でコストがかかるなど課題があり、次の段階として期待されるシステムである。 ・QR コード決済や、マイナンバーカード連携による住民割引という取り組みは、それぞれ日本で先進事例があるが、それらを上手く組み合わせることで事務局で制度設計をいただいたと思う。 ・ぜひ計画を実現いただき、国土交通大臣表彰を目指していただき、またそういった先進的取り組みであることを、市民に対しても PR することで、市民の公共交通へのエンゲージメントを高めてほしい。 ・交通政策は専門性が高く、行政として取り組みを進めていくにあたっては、事業者との関係構築も重要な要素となるので、今回の素晴らしい計画ができたことは、坂出市としてそういったことを理解して、専門人材を育てられているのだと思う。
<p>琴参バス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゾーン運賃にあたっては、事業者が認められている上限認可運賃の対象外ということで、協議会の協議に基づく、協議運賃ということで予定している。地域を跨ぐ路線もあるということで、倉敷市、丸亀市で既に承認をいただき、今後、宇多津町の協議会で審議いただく予定となっている。 ・ゾーン運賃により、駅から離れた地域については、従来より運賃が安く設定されるようになり、利用しやすくなると思う。 ・瀬戸大橋線について、児島エリアで、下電バスさんと並行する区間があるが、下電バスは初乗り 170 円と運賃が異なることになるので、協議が必要。

<p>議長</p> <p>各委員</p> <p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・循環バスの西ルートについて、宇多津町へ跨る路線に再編するというので、6月13日に香川県地域公共交通確保維持改善協議会にお諮りし、地域間幹線系統として認められた。 ・西ルートの宇多津町への乗り入れにあたっての、スーパーセンターへのアクセスについて、宇多津町コミュニティバスのように店舗入り口前のバス停設置が理想ではあったが、車両サイズが異なることから、安全性を考慮して、敷地外でのバス停設置を検討している。 ・青海行きバスの見直しにあたっては、先般導入した乗降センサーから把握できた実績も考慮して、利用が少なかった大屋富経由を廃止して、高屋経由に統合することで、地域で利用されているハローズへアクセスする便が多くなる。また、日祝日の運行については、利用者数が少ないことや、乗務員が不足していることを考慮して運休したい。 ・交通事業者におかれても、工夫してサービス改善を図ってこられており、感謝申し上げます。 ・議案について、お諮りする。 <p>《異議なしにより承認》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局と交通事業者で手続きを進めていただき、軽微な修正については一任する。
--------------------------------	--

協議事項(4) 地域公共交通計画(別紙)について 【地域内フィーダー系統国庫補助金計画】

発 言 者	発言要旨
事務局	《資料に基づき説明》
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどの運行計画に関する議題と関連して、地域内フィーダー系統に関する国庫補助上の運行計画となる。 ・議案について、お諮りする。
各委員	《異議なしにより承認》

協議事項(5) 福祉タクシー車両の導入について

発 言 者	発言要旨
事務局	《資料に基づき説明》

四国タクシー	・数年前にも1台福祉タクシーを導入したが、要望が増えてきたので追加で1台購入したいと考え、申請させていただいた。
議長	・当議案についても、利用者が便利になるということでお諮りする。
各委員	《異議なしにより承認》

協議事項(6) その他

発 言 者	発言要旨
議長	その他として、委員のみなさん、事務局から何かあるか。
副会長	<p>・先ほどのスーパーセンターのバス停の件について、スーパーセンターは駐車場が広く、歩行者が駐車場内を歩くのは危ない。現在の発想では、バスが通行する際に駐車場から人が出てくると危ないという発想になっているので、難しい調整とは思いますが、店舗側と協議して配慮を検討いただきたい。</p> <p>《議事終了》</p>